

学校教育目標

「共に学び合い、心豊かにたくましく生きぬく子どもの育成」

【本年度のスローガン】

「互いに認め合い、協力して活動する」子ども
「児童・保護者に寄り添う」職員集団
キーワード
「桜丘プライド」「自己肯定感」「共感的理解」

【本年度の取組の重点】

- ◆確かな人権感覚を育む人権教育の推進（人権カリキュラムの実践）
- ◆個々のニーズに応える特別支援教育の推進
- ◆GIGA 端末・持ち合い授業等を活用した確かな学力と自信をもたせる指導の充実
- ◆基本的な生活習慣の定着と望ましい集団づくりの推進
- ◆健康で活力ある生活を送るための体力向上・健康教育の推進
- ◆業務改善の推進
- ◆地域の教育力を活かした事業の推進（地域学校協働活動事業など）

【目指す子ども像】

〈知・徳・体のバランスのとれた子どもの育成〉

知	進んで学ぶ子	【自ら学び、自立しようとする子ども】
徳	思いやりのある子	【心豊かに、支え合う子ども】
体	たくましい子	【元気で明るく、よく働く子ども】

【目指す学校像・教職員像】

- | | |
|--------------------|--------------------------|
| ○笑顔溢れる美しくきれいな学校 | ●子どものよさを見つけ自立へ導く教職員 |
| ○確かな学力の定着を目指す学校 | ●自己研鑽に努め、授業力向上を目指す教職員 |
| ○保護者や地域と連携し信頼される学校 | ●保護者や地域、児童に寄り添う教職員 |
| ○チームとして力を発揮する学校 | ●報・連・相を適切に行い、チームで機能する教職員 |

【具体的な子ども像】

自ら学び、自立しようとする子ども
○自ら学ぼうとする子 ○他者と協力し学ぼうとする子
○自分の将来を考えようとする子
心豊かに、支え合う子ども
○気持ちよくあいさつする子 ○助け合い、協力する子
○友達を思いやる子
○自分の良さに気付き表現し、他の人の良さを見つけ認める子
元気で明るく、よく働く子ども
○運動に親しむ子 ○規則正しい生活を身につける子
○他人のために行動する子

「学校教育目標」具現化に向けての具体的方策 ⇒ 大切にしたい3つの要素 I「学力」（伸びようとする力） II「規律」（心地よい居場所） III「自己肯定感」（自信）

《Ⅰ学力》【学力向上に向けた職員のチームづくり】

- ① 主題研究の推進（特別活動の研究推進・望ましい人間関係）
- ② 社会の変化に対応する資質や能力の育成（外国語活動、GIGA活用、道徳科の実施、主体的・対話的で深い学びの育成）
- ③ 合理的配慮を含めた特別支援教育の充実（ケース会議）
- ④ 職員研修の充実（OJT）
- ⑤ 連携・学力向上のための持ち合い授業の推進
- ⑥ 学習機会の拡充と学習内容の定着（意欲的に取り組む家庭学習の工夫）
- ⑦ 言語活動の充実、学び合う授業の創造（はなす・かく）

《Ⅱ規律》【規律ある学校生活づくり】

- ① 子どもの居場所づくり（全教職員による組織的な取組）
- ② 生徒指導の充実（共通理解、早期発見と適切な対応、問題事象への緊急対応）
- ③ 学校のきまり、学びの約束の徹底（あいさつ、言葉づかい等）
- ④ 子どもの自治力の育成（兄弟学年活動・フロアリーダー等）
- ⑤ 職員の危機管理意識の高揚（不祥事防止、体罰、飲酒運転、ハラスメント等 安全対策 不審者対応、自然災害等）
- ⑥ 地域の教育資源や教育力の有効活用（地域学校協働活動事業）

《Ⅲ自己肯定感》【自己目標達成の環境づくり】

- ① 支持的風土に支えられた学級づくり（学級集団づくり）
・人権意識に支えられた互いのよさを認め合う人間関係づくり
・目標の設定と振り返り
- ② 地域と連携する学校（学習参観、開放週間、学校評価等）
- ③ 家庭と連携する学校（学級懇談会やPTA活動等）
- ④ 関係機関との組織的な取組（スクールカウンセラー、SSW、子ども総合センター等）
- ⑤ 情報の発信（学校HP、学校だより、学年・学級だより家庭訪問等）

＜道徳＞

- 「違いを認め・実践力を身に付ける道徳」の授業の推進
- 自立心・自律性・自尊感情を育てる指導の充実（励まし、認める評価）

＜教科指導＞

- 基礎的・基本的な内容の習得と活用力の育成（書く、話す等）
- 生きる力の基盤となる「言語活動」の充実と学び合いの基盤づくり

＜特別活動＞

- 学級活動の充実（学級会を通しての自治的な実践と自己決定の重視）
- 縦割り活動の充実（異年齢集団で協力し、より良い人間関係を形成）

＜外国語活動・外国語科＞

- 体験と実践意欲の育成

＜総合的な学習の時間＞

- 特色ある探究的な学習の充実

＜健康教育＞

- 発達段階に応じた系統的な健康・発育指導と日常の健康観察の徹底

＜食育＞

- 給食指導、学年に応じた食習慣の形成

＜生徒指導＞

- 関係機関との連携及び、いじめ・不登校対応（毎週の生徒指導報告会）
- 定期的な教育相談の充実

＜人権教育＞

- 児童支援加配教員を中心に、地域の実態をふまえた人権感覚の育成
- 人権・同和問題の認識と実践力向上のための職員研修

＜特別支援教育＞

- 特別な支援を要する児童への適切な指導・支援
- 校内支援体制の組織化と情報の共有化、関係機関との連携

＜安全・防災教育＞

- 火事・地震・不審者等、災害発生時の適切な行動の育成

＜キャリア教育＞

- 大人との交流を通して、自分の将来を考える機会の設定

＜学校図書館教育＞

- 学習センター、情報センターとしての環境整備

＜環境教育＞

- 地域を愛し自主的に参画する態度の育成

＜情報教育＞

- GIGA 端末活用能力の育成と指導の工夫
- 情報モラルの指導の徹底（SNS対応等）

＜国際理解教育＞

- 自文化の理解と異文化の尊重のための体験活動

＜福祉教育＞

- 生命を尊重し、他人を思いやる心の育成
- 様々な立場の人と共に生きる態度の育成

「チーム桜丘」として大切にしたいこと！

- | | | | |
|-------------------------|---------------------------|--------------------|----------------|
| ○不祥事ゼロ | ○風通しの良い職場（「情報・連絡・相談・報告」等） | ○児童を全教職員で「育てる」 | ○適切な遅刻・欠席・ケガ対応 |
| ○来校者・保護者への対応（温かく寄り添う姿勢） | ○温かい電話対応「桜丘小の〇〇です」 | ○協働を意識した確実な提出期限の厳守 | ○守秘義務 |